創作人形劇

「ぼくはこれがすき」



豊川市人権教育推進実行委員会

　ぼくは　これがすき

　　　　　　　舞台　なにもない。

司　会　（下手側）ここに　一匹のさる君がいます。

　　　　　　　センターにさる登場。

司　会　　このさる君の大好きなもの、それは何でしょう？（少し客席

とやりとり）

それはね、

　　　　　　　さるの横に　一本の花が出る。

司　会　　そう、お花です。

　　　　　　　さる　花に向きあい、うっとりにおいをかぐしぐさ。

司　会　　ほかのみんなが、とんだりはねたりして遊んでいても、

いつもひとり　花のそばにいるのが好きでした。

　　　　　花のにおいをかぎながら、歌をうたったり、（さるの方を

見る）

　　　　　　　さる　気楽に　はなうたを口ずさむ。

司　会　　楽しそうにおどったり（さるの方を見る）

　　　　　　　さる　ゆるゆるからだを動かしている。

司　会　　そのうちに　いねむりしたり（さるの方を見る）

　　　　　　　さる　こてんと寝て、すぐいびきをかく。

　　　　　　　突然、ぶたが登場。

ぶ　た　　ブー！

　　　　　　　司会、驚く。さるは熟睡したまま。

司　会　　ぶたくんも　出て来ましたね。

　　　　　このぶたくんの大好きなものは、なんでしょう？

　　　　　（また観客に投げかける）

ぶ　た　　（観客の声をさえぎるように）勝負だ！

　　　　　（客席にむかって）勝負だ！

　　　　　（司会にむかって）トゥ――！

司　会　　（大げさに驚く）

ぶ　た　　（寝ているさるに向かって）タ――ッ！

　　　　　（さるの反応は無視して意気揚々とセンター後ろへ退場）

　　　　　　　さるは、びくともせず寝ている。

司　会　　（客席に）びっくりしたね。

司　会　　今からはじまるのは、こんな　さる君とぶた君のおはなし

です。それでは、「ぼくは　これがすき」

はじまり　はじまり

　　　　　　　軽快な音楽がはじまる。

　　　　　　　花が　トントンと　さるに合図をする。

　　　　　　　さる起きて、花を抱えセンター後ろへいそいそと退場。

　　　　　　　司会はそれを見送って、下手に退場。

　　　　　　　音楽の最後で、上手下手に花畑が出る。

　　　　　　　さる　センター後ろから登場

さ　る　　わー、昨日より　ぐんと大きくなった！

　　　　　うーん　いいにおい！　おはよう！

　　　　　　　下手から　ぶたがウサギ跳びしながら登場。

　　　　　　　上手まで行って　また戻る。

ぶ　た　　あー、からだが　うずうずする（ハッハッと言いながら

ポーズとっている）

おっ、さる！

さ　る　　なに、ぶたくん。

ぶ　た　　勝負しようぜ、勝負！

さ　る　　勝負しない。

ぶ　た　　すもうしようぜ！

さ　る　　すもうしない。（花のにおいをかぐ）うーん、いいにおい。

ぶ　た　　こっちこいよ（さるを　ひっぱりだす）

　　　　　毎日毎日　フンガフンガ　花のにおいばっかりかいてんじゃ

ないよ！

さ　る　　やらないって言ってんのに―。

ぶ　た　　はい、行くぞ、見合って見合って、

さ　る　　（しぶしぶ　かまえる）

ぶ　た　　はっけよーい　のこった！

　　　　　　　さる　組み合う前に自分で前のめりにこける。

さ　る　　あいたっ

ぶ　た　　なんだよ！

さ　る　　やめたっ（花のそばに行き　デタラメな感じで歌いだす）

　　　　　　♪　お花さんー　顔うったー

　　　　　　　　あーいたい　あーいたいー　♪

　　　　　（言いながら　上手花畑の方へ入っていく）

ぶ　た　　へんな歌　うたうなよ。

　　　　　なんだ　つまんねーなー

　　　　　　　下手から　たぬき登場。

ぶ　た　　おっ　たぬき　勝負しようぜ！

たぬき　　えっ　またー！？

ぶ　た　　すもうしよう　すもう！

たぬき　　いいけど　ずるいことしないでよ。

ぶ　た　　しない　しない。はい　見合って見合ってー

たぬき　　はっけよーい

ぶた　　　のこった！

たぬき

　　　　　　がっちり組み合う。互角。

　　　　　　ややあって、ぶたが　たぬきの顔のまん前に顔を寄せて

　　　　　　ピタリと停まる。

ぶ　た　　おっ？　たぬき！

たぬき　　なに？（つられて停まる）

ぶ　た　　ブッヒ～（大きくひと声出しながら鼻で押す）

　　　　　　　たぬき驚いて、下手側の花の上に倒れる。

　　　　　　　花が何本か（客席の側に）折れる。

ぶ　た　　やったやったー！

たぬき　　いたいっ！　またこんなことするー、

　　　　　もうー（怒ってセンター後ろに退場）

ぶ　た　　おー、勝った勝った――！

　　　　　ぶたの　ねこだまし――！

　　　　　　　うさぎが　下手から登場。

ぶ　た　　おっ！うさぎ　勝負しようぜ！

うさぎ　　えっ　またー！？

ぶ　た　　すもうしよう　すもう！

うさぎ　　いいけど　ずるいことしないでよ。

ぶ　た　　しない　しない、はい見合って見合って――

うさぎ　　はっけよーい

ぶた　　　のこった！

うさぎ

　　　　　　　がっちり組み合う。互角。

　　　　　　　ややあって　ぶたがするりと抜けて、ウサギの背中に

　　　　　　　回り　くすぐり出す。

ぶ　た　　コチョコーチョコーチョー

うさぎ　　こら、やめなさいー

　　　　　　　うさぎ　下手側の花の上に倒れる。

　　　　　　　花が　また少し折れる

うさぎ　　いたいっ！　またこんなことするー

　　　　　もうー（怒ってセンター後ろに退場）

ぶ　た　　また勝った　勝った――

　　　　　ぶた　くすぐりー！

　　　　　みんな弱いねー

　　　　　　　上手から　蝶がとんでくる。

　　　　　　　追って　さる登場。

　　　　　　　蝶、花にとまる。

さ　る　　あっはー、蝶々さん　その花気に入った？

　　　　　いいにおいでしょ。

ぶ　た　　（蝶のそばに寄り大きく息吸い込む）

　　　　　フンガー！

　　　　　　　蝶、ぴったりとぶたの鼻に吸い寄せられ、くっつく。

さ　る　　あ、蝶々さん　それはお花じゃないよ！　ハナ！

　　　　　ぶたくんの鼻！

ぶ　た　　ぶあっくしょーん！

　　　　　　　蝶　飛び立ち下手へ。

ぶ　た　　あっこら　このハナが気に入らないのか、まて、

　　　　　つかまえてやるー（追って下手へ退場）

さ　る　　やめろよ　ぶたくん（倒されたお花見つける）

　　　　　あっ　お花たおれてる　あーあーかわいそうに

　　　　　（花を起こして、まわりの土を押し込むしぐさ）

　　　　　　　センター奥から　うさぎと　たぬき登場。

うさぎ　　あっ　さるくん　手伝って

さ　る　　なにを？

うさぎ　　ぶたくんを　やっつけるの。

たぬき　　いつもずるい事ばっかりするから、みんなでやっつけよ！

さ　る　　やらない

うさぎ　　どうして？

さ　る　　やりたくないの（花のそばに戻り）あー、こっちも

　　　　　たおれちゃってる（作業する）

たぬき　　また　花だ

　　　　　いっつも花のことばっかり。

うさぎ　　（からかう風に歌いだす）

　　　　　♪花さんが　おともだち

　　　　　　花さんが　おともだち

たぬき　　♪花さんが　おヨメさんーー

　　　　　　　二匹　大笑いする。

　　　　　　　さる　二人の前をおこりながら通りすぎ、ふりむいて

　　　　　　　「キャキー」と言って上手の花畑の方へ入って行く。

　　　　　　　二匹　また笑う。

　　　　　　　ぶた　下手から登場。

ぶ　た　　なんだ、なんだ？　何　楽しそうに笑ってんの？

うさぎ　　ぶたくん、勝負しよう！

ぶ　た　　おほーっ！　勝負、勝負　何やるんだ？

　　　　　　　二匹　後ろから　つな取る。

二　匹　　つなひきだ！（つなを見せる）

ぶ　た　　ひゃっほー！（飛びはねながら、上手側に行く）

　　　　　やろうぜやろうぜ！

たぬき　　はい！（つなの一方をぶたに渡す）

　　　　　　　もう片方で、たぬきと　うさぎが　つなを持つ。

ぶ　た　　あれ？そっち多くない？

うさぎ　　いいでしょ？ぶたくん　とっても強いんだから。

　　　　　（わざともち上げ、小声で）たぬきくん　いい？

たぬき　　（ふり返り）作戦どおり　ＯＫ！

ぶ　た　　何こしょこしょ言ってる。

うさぎ　　ころんだ方が　負けよね。

ぶ　た　　よし！行くぞ！　オーエス！

二　匹　　オーエス！

ぶ　た　　オーエス！（少し自分の方へひっぱる）

二　匹　　オーエス！（ひっぱりかえす）

ぶ　た　　オーエス！（先ほどより大きくひっぱる）

二　匹　　オーエス！（ひっぱり返す）

うさぎ　　たぬきくん　今よ！

たぬき　　よし！

　　　　　　　二匹が何か仕掛けようとした時、ぶたが　急に　からだをまわしてつなをまきつけて　二匹の顔前に来る。二匹驚いてとまる。

ぶ　た　　（大声で）あっ！（客席の側に顔を大きく向ける）

二　匹　　（つられて）えっ？（客席に顔を向ける）

ぶ　た　　つん！（二匹が油断した時に押す）

　　　　　　　二匹　また下手花の中に　くずれおちる。

二　匹　　痛い――！

　　　　　　さる、上手から走って出てくる。

さ　る　　あー、またお花ぐちゃぐちゃにした――！

　　　　　（二匹に）何するんだよー（大声で怒る）

二　匹　　（とび起きて）うるさーい！（大声でさるにあたる）

　　　　　　　こんなはずじゃないのに、などとぶつぶつ

　　　　　　　いいながら、二匹センター後ろに退場。

ぶ　た　　ひぇっほー、勝った勝ったー！

さ　る　　元にもどせよ！（大声で怒る）

ぶ　た　　うるさーい！（さるに顔をぐいと近づけ叫ぶ）

　　　　　　　さる　勢いにおされ、少し泣き怒りする。

　　　　　　　また下手の花を起こしていく。下手に退場。

ぶ　た　　へん！そんな事ばっかりしてるから、弱っちいんだ。

　　　　　戦う時は、戦わなきゃ！（見得をきる）

下手そで上に　どんっ！とカッパ登場。

カッパ　　カッパ――！（見得をきる）

ぶ　た　　あーびっくりした。

　　　　　　　後から　うさぎとたぬき登場。

うさぎ　　ぶたくん

うさぎ　　勝負だ！

たぬき

カッパ　　（ニ匹の横に登場）カッパ―！

たぬき　　カッパくんは、力もち！

カッパ　　カッパー！

うさぎ　　かっぱくんとすもう対決だ！

三　匹　　カッパー！（三匹同時に飛び上る）

ぶ　た　　（少し後ずさり）

　　　　　へへ、笑わせる。よし！勝負してやろう。

　　　　　かかってこい！　はっけよーい、

カッパ　　（見合っての姿勢　小さくうなるように）

　　　　　カッパ―！

全　員　　のこった！

　　　　　　　上手はしで　たぬき　うさぎ　カッパに声援。

　　　　　　　ぶたとカッパ組み合う。互角。

ぶ　た　　（たぬきにしたのと同様に）おっ？（カッパの顔の

　　　　　まん前で停まる）ブッヒー！

　　　　　　　カッパ動じない。

ぶ　た　　あれっ？（次はうさぎにしたのと同様に）

　　　　　コチョコーチョコーチョー

　　　　　　　カッパびくともしない。

　　　　　　　カッパつられず　ぶたを大きく持ち上げる。

カッパ　　カッパー！（大きくぶたをほうり投げる）

　　　　　　　ぶた大きく宙を舞う。

　　　　　　　下手花の上に落下しそうになる。

さ　る　　あっ、お花、ダメ！（すごい勢いでとんで来て、がっちり

　　　　　ぶたを受けとり花を守る）

ぶ　た　　おー！？（さるを一瞬凝視）

うさぎ　　わ――！（さるに近づいて勇姿を見つめる）

　　　　　さるくんすごい！ナイスキャッチ！

ぶ　た　　（さるから飛びおりて）まだまだ！（カッパの上手側に移動）

はっけよーい、のこった！

　　　　　　　カッパとぶた　また組み合う。うさぎは下手で観戦。

すぐにカッパがぶたを持ち上げて飛ばす。

カッパ　　カッパ――！

　　　　　　　ぶた　また上手花の上に落下しそうになる。

さ　る　　あっ、お花、また（ぶたをがっちり受けとめた後はずみで）

　　　　　ダメだって――！（ぶたをカッパの方に投げ返す）

　　　　　　　ぶた　きれいにカッパの頭の上にのる。

カッパ　　（すかさず）カッパ――！（ぶたを大きくヘディング）

さ　る　　あっ（今度はぶたを受けとめた後、こらえきれず二人で

上手花の中へ倒れこむ）

うさぎ　　（走って近より）あーあー

たぬき

カッパ　　（大喜びで）カッパ―　勝ったー　カッパ―　勝ったー

　　　　　（センター後ろへ入っていく）

　　　　　　　　うさぎ、たぬき、喜んでいるカッパの方に、思い出したように近づく。

うさぎ　　（ふり返り）さるくん　すごかったね・・・

たぬき　　びっくりしたね・・・

二　匹　　カッパ―　勝ったー　カッパー　勝ったー

　　　　　　　センター後ろへ退場。

さ　る　　わー、折れちゃってる（必死に上手花の世話をしだす）

ぶ　た　　おまえ　すごいなー、さっと来て、がしっと持って、

　　　　　すごい力もちだー。（脳天気に感心してる）

さ　る　　ぶたくん、お花おこして！

ぶ　た　　おっ　二人で一緒に　カッパに勝負に行こう！

さ　る　　ほら　そっちの花も（下手の方をさす）

ぶ　た　　ほら　カッパと　勝負しよ

さ　る　　（大声でさえぎる）ぶ―――！

ぶ　た　　ぶー？

さ　る　　勝負はいいから、お花！（強くいさめる下手花の方へ

つれていく）

ぶ　た　　こわいなー　（花にさわり出す）おっ、いいにおいする

　　　　　じゃん！

さ　る　　そうだろ！

ぶ　た　　あれ？こっちの花は　違うにおいだぞ。

ブコー（すごい勢いでにおいかぎ出す）

ぶ　た　　おい、さる！　変だ！　花のにおいで　今　打った尻の

　　　　　痛いのが　とんでった！

さ　る　　（大笑いする）

ぶ　た　　うん、花っていいなぁ。

さ　る　　そうだろ（大喜び）

ぶ　た　　さる！　おまえも　いい。

さ　る　　なんだよ（笑う）

　　　　　ぶたくん、あっちのお花畑　つれてったげる。

　　　　　いいにおいのするお花が、ぱーっと咲いてるよ！

ぶ　た　　よしきた！

音楽はじまる。

　　　　　　　さるとぶた　少し楽しそうに会話するしぐさの後、

センタ後ろへ退場していく。

蝶　二匹飛ぶ。

下手から　司会が出てくる。

　　　　　　　司会が、今日の会をしめくくるあいさつをする。

カーテンコールで、ぶた、さる、うさぎ、たぬき登場。

最後に　司会が手に持って隠していたカッパを

「カッパ―」と言って出す。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　おわり